

第6回人文・社会科学系研究推進フォーラム

人社主導の学際研究プロジェクト 創出を目指して

～未来社会^{ひら}を拓く人文学・社会科学^{いま}研究の現在と展望

文理融合・異分野融合/連携など様々に表現される学際研究ですが、近年、人文学・社会科学の視点を盛り込むことが重要視されています。しかし現状では、理系(自然科学)主導のプロジェクト内のごく一部に人社系研究者が関与する形が主流と言わざるを得ません。アカデミアに対して研究成果の社会還元が期待される今、人文学・社会科学がアカデミア全体の中で果たす役割はさらに増大すると考えられます。

そこで今回のフォーラムでは、昨今の動向と問題意識を共有し、様々なタイプの異分野融合/連携の事例を参考に意見交換を行い、さらなる人社主導のプロジェクト創出について議論を深めたいと思います。



2020年 **2月26日**(水)

13:00～18:00 受付開始 12:00～

会場 北海道大学
学術交流会館 講堂

定員 100名 (要事前申込・先着順)

対象 研究者、URA等大学・研究機関職員、省庁関係者、助成団体関係者等

参加費 無料 (情報交換会は会費制：4,000円)

申込 ウェブサイトよりお申込みください
(2020年2月14日締切)

<https://u4u.oaic.hokudai.ac.jp/3714/>

※託児対応いたします

申込フォームにてお申込みください (2020年2月7日締切)



主催 URA 北海道大学 大学力強化推進本部
研究推進ハブ URAステーション

共催 大阪大学 経営企画オフィス研究支援部門、京都大学 学術研究支援室(KURA)、筑波大学 URA 研究戦略推進室/ICR、早稲田大学 リサーチイノベーションセンター研究戦略部門、琉球大学 研究推進機構研究企画室、横浜国立大学 研究推進機構、中央大学 研究支援室



プログラム

13:00 開会挨拶 西井 準治 (北海道大学 理事・副学長)
来賓挨拶 前田 幸宜
13:10 (文部科学省 研究振興局 振興企画課 学術企画室長)
趣旨説明

13:10 **第1部 基調講演**
14:05 「学際研究プロジェクトの未来に向けて
～オープンチームサイエンスと共創型プロジェクト」
1. 「オープンチームサイエンス～社会にひらかれた共同研究の方法論～」(近藤 康久)
2. 「プロジェクト型研究の系譜と展望－人文・社会科学振興プロジェクト研究、社会技術研究プロジェクト、人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト構想」(城山 英明)

14:10 **第2部 事例紹介**
16:00 「人社系が参画するさまざまな融合・連携のかたち」
1. 「有用」な人文・社会科学系産官学連携 (南 太)
2. 琉球大学での地域と協働する超学際的プラットフォーム形成におけるURAの役割 (押海 圭一)
3. 人間知・脳・AI研究教育センターにおける諸学の融合 (田口 茂)
4. 大阪大学・社会ソリューションイニシアティブ(SSI)の取り組みと特徴 (堂目 卓生)
5. サニテーションプロジェクトにみる課題解決型プロジェクトのこれまでとこれから (山内 太郎)

16:10 **第3部 ワークショップ**
17:55 「人社系が参画・先導する学際プロジェクトとは」
(講評 鈴木 一人)

17:55 閉会挨拶 阿部 弘 (北海道大学 大学力強化推進本部 研究推進ハブ URAステーション長・特任教授)

18:30 情報交換会 (～20:00)

人文・社会科学系研究推進フォーラムとは

人社系の研究にかかわる研究者やURA、事務系職員等が、よりよい研究推進のあり方をともに議論し、ともに行動することを目指して、2014年に発足しました。フォーラムの企画・運営は、開催校を中心に、各大学の人社系担当URAの有志グループによって行われています。第6回目となる今年度は、北海道大学大学力強化推進本部研究推進ハブURAステーションが主幹となり、北海道大学にて開催いたします。

講演者プロフィール



近藤 康久 (こんどう やすひさ)

総合地球環境学研究所・准教授。専門は考古学、地理情報学、オープンサイエンス論。現在、地球研のコアプロジェクト「環境社会課題のオープンチームサイエンスにおける情報非対称性の軽減」のリーダーを務める。文部科学省 科学技術・学術政策研究所客員研究官を兼任。



城山 英明 (しろやま ひであき)

東京大学 大学院法学政治学研究科・教授。現在、文部科学省 科学技術・学術審議会学術分科会 人文学・社会科学特別委員会の主査として、人社系研究を軸とした公募型プロジェクト事業の設立に取り組む。専門は、行政学、国際行政論、科学技術と公共政策。



南 了太 (みなみ りょうた)

京都大学 産官学連携本部・主任専門職。専門は人文・社会科学系産官学連携・社会学。京都大学では組織対組織の産官学連携の推進や、京大オリジナルの立ち上げ、京都アカデミアフォーラムの立ち上げなどに従事し、本講演では人社系産官学連携の様々な事例を紹介する。



押海 圭一 (おしうみ けいいち)

琉球大学 研究推進機構 研究企画室・主任リサーチアドミニストレーター。人文・社会科学の研究推進を担当するとともに、水循環プロジェクトのマネジメントも担当。前職は、総合地球環境学研究所IR室で学際研究・超学際研究に関する研究推進、研究評価などを担当。専門は法学、研究評価、IR。法務博士(専門職)。



田口 茂 (たぐち しげる)

北海道大学 大学院文学研究院・教授。人間・脳・AI研究教育センターの初代センター長として、人文社会科学・神経科学・人工知能の知が深く交差する文理融合型の学際的研究・教育に取り組む。研究分野は、西洋近現代哲学(特に現象学)、近代日本哲学、意識の学際的研究。



堂目 卓生 (どうめ たくお)

大阪大学 総長補佐、経済学研究科・教授。専門は、経済学史、経済思想。アダム・スミスの研究で、サントリー学芸賞を受賞。紫綬褒章受章(2019)。2018年より、社会ソリューションイニシアティブ(SSI)長として、社会課題に向き合い、未来社会を構想する取組を進めている。



山内 太郎 (やまうち たろう)

北海道大学 大学院保健科学研究院・教授。現在クロスアポイントメント制度で、総合地球環境学研究所・教授として、「サンテーション価値連鎖の提案-地域のヒトによりそうサンテーションのデザイン」のプロジェクトリーダーを務める。専門は、人類生態学、国際保健学。



鈴木 一人 (すずき かずと)

北海道大学 公共政策学連携研究部・教授。国際政治・国際関係論と科学技術を専門とし、大量破壊兵器不拡散、輸出管理、宇宙政策、科学技術と安全保障など、研究と実務の両方にかかわっている。内閣府 宇宙政策委員会宇宙安全保障部会メンバー。日本安全保障貿易学会会長。



アクセス情報

北海道札幌市北区北8条西5丁目

北海道大学 学術交流会館 講堂

◇ JRをご利用の場合 …… JR「札幌駅」より 徒歩7分

◇ 地下鉄をご利用の場合 … 地下鉄南北線「さっぽろ駅」より 徒歩8分

「北12条駅」より 徒歩7分

お問い合わせ

北海道大学 大学力強化推進本部 研究推進ハブ URAステーション (担当: 中野・加藤)

Tel: 011-706-9577・9596

E-mail: ura-seminar@cris.hokudai.ac.jp

<https://u4u.oeic.hokudai.ac.jp/3714/>

